

白神BioBlitz

白神山地生物多様性集中調査大作戦!

2024 in 西目屋村川原平

参加者募集!

動植物の専門家と一緒に調査に参加してみませんか?

会場：青森県西目屋村川原平
弘前大学「白神自然観察園」

当日は現地集合。自家用車でお越しください。

日時：2024年6月15日(土) AM9:50～
6月16日(日) AM10:30 (24時間調査)

募集：小学生以上 50名

(調査経験不問。小中学生は保護者と一緒に参加してください)

応募締め切り 5月24日 参加者発表 5月27日
(応募者が多数と見込まれるため、抽選を行います)

専門家スタッフ

林正美(埼玉大学名誉教授, 昆虫), 大原昌宏(北海道大学総合博物館, 昆虫), 渡辺恭平(神奈川県立生命の星・地球博物館, 昆虫), 古木達郎(元千葉県立中央博物館, 植物), 梅津一史(元秋田県立博物館, 昆虫), 木村啓(津軽植物の会), 太田正文(元青森県立郷土館, 植物), 殿内暁夫(弘前大学, キノコ), 中村剛之(弘前大学, 昆虫), 山岸洋貴(弘前大学, 植物), 森井悠太(弘前大学, 軟体動物), ムラノ千恵(弘前大学, 哺乳類), 相馬純(弘前大学, 昆虫), このほか、津軽植物の会、津軽昆虫同好会、白神キノコの会、弘前大学フィールドサイエンス研究会など各グループの有志の皆さん。



バイオブリッツ

BioBlitzってなんだ?

BioBlitzは国内では馴染みの少ないものと思いますが、欧米を中心に博物館などが主催で行われている市民参加型の生物調査イベントです。

動植物の専門家と、子供を含む市民と一緒に、決められた地域の動植物を24時間かけて調査します。調査結果は報告書にまとめられ出版されます。このイベントの狙いは、

- ・地域の自然と奥深い生物の種多様性を知る。
- ・動植物の研究者と接し、専門的な知識や技法を知る。
- ・市民が記録の残る調査活動に参加する。
- ・単純に、自然に触れ、生き物を知る事を楽しむ。

一般的な観察会や散策とはちょっと違う自然との新しい接し方を楽しみましょう。



専門家と一緒に調査

屋内での調べ作業

事務局(申し込み、各種問い合わせ)

弘前大学農学生命科学部附属 白神自然環境研究センター
「BioBlitz 2024 in 西目屋村川原平」担当 中村剛之
dhalma@hirosaki-u.ac.jp 電話 0172-39-3707

弘前大学 " 白神自然観察園 "

「白神自然観察園」は西目屋村の中心から白神ライン沿いに、西へおよそ8 kmの津軽白神湖の南岸（川原平）に位置しています。世界遺産地域からは直線でおおよそ3 km。ここでは50年ほど前まで、燃料としての薪の生産や、炭焼きが行われていました。約18 haの園内にはブナやミズナラからなる二次林、スギやカラマツの人工林など様々な林相を見ることができます。ニホンカモシカやツキノワグマ、ニホンザル、ヤマメなども生息する自然豊かな地域です。



" 白神自然観察園 研究教育棟 " BioBlitz 本部となります。



" 研究教育棟 " 内部



" 白神自然観察園 "

活動内容

観察園とその周辺に生息する維管束植物やコケ類などの植物、昆虫や鳥などの動物をできるだけ多く採集、撮影、記録して、この森の住民票（インベントリー）を作成します。確認した動植物は本部に情報を集め、皆で記録を確認したり、観察できるように展示します。

さあ、24時間の間にどれだけ多様な動植物を見ることができるでしょうか。新種発見だってあるかもよ。

調査結果は年度末に出版する報告書に掲載します。

【日程】6月15日（土曜日）

9:00 受付開始 9:50 開会式 10:00 調査開始

6月16日（日曜日）

10:00 調査終了、閉会式 10:30 解散

調査以外にも時間を決めて様々な活動に取り組みます。

参加自由。調査の合間に参加してください。

昆虫採集、植物観察、同定（名前調べ）、昆虫捕獲用のトラップの説明と設置&回収、自動カメラの設置と撮影された画像の確認、夜間採集（ライトトラップ）、夜の観察会、標本の作り方実演、研究棟での講話など。

休憩室や展示のコーナーも設けます。

タイムスケジュール

9:00 受付開始

9:50 開会式 記念撮影

10:00 BioBlitz スタート！まずはみんなで園内一周！
探索開始！
昆虫トラップの設置 本部で展示 名前調べ

12:00 昼食 休憩

午後の部スタート

植物班、昆虫班、キノコ班、その他などに分かれて調査開始！

チョウを探そう 標本づくり教室

シダ植物を調べる コケだって調べる

講話「白神山地の奥地へ」「標本の価値」ほか

自動カメラの設置

18:00 夕食 休憩

19:30 ライトトラップ（明かりに集まる昆虫の採集）

夜の園内散策

適宜、就寝

おはよう！

朝食

7:00 2日目スタート

昆虫トラップの回収

自動カメラの回収とチェック（何が写っているかな？）

データ収集と名前調べ。

10:00 閉会式 成果概要発表

10:30 解散

年度内：報告書作成、出版、参加者へ配布。

※ 活動内容は変更されることがあります。

参加の仕方

可能なら全日程ご参加いただきたいですが、参加の仕方は次の3つから選んでください。

① 24時間 フル参加

(15日 9:50 ~ 16日 10:30)

昆虫の夜間採集、夜の観察会などを行います。

夜は研究棟で寝袋宿泊・車中泊・幕営など。

② 昼間のみ参加

(15日 9:50 ~ 18:00, 16日 朝 ~ 10:30)

夜はご自宅、ホテル/旅館で休んで、翌朝また参加。

③ 初日のみ参加

(15日 9:50 ~ 18:00)

一番気楽に参加いただけます。

調査の合間に、
いろいろな活動に
参加してみよう。

参加者特典

- ・年度内に出版される報告書に調査者としてお名前が掲載されます。研究者の仲間入り！
- ・報告書を一部進呈（年度末出版予定、ご家族で参加の場合は1家族で1部）。
- ・白神自然環境研究センター出版の各種ブックレット進呈（BioBlitz当日、会場で配布します）。

当日の準備

参加費：1人500円（保険料・資料代・茶菓代など）

準備いただくもの：長袖、長ズボン、帽子、靴は長靴・運動靴・登山靴など活動しやすいもの。雨具（傘ではなく、雨ガッパ）。虫よけスプレー。

そのほか24時間の活動を快適に過ごすためのもの。

各種調査用具は用意しますが、ご自分の調査用具（虫とり網や双眼鏡など）があれば、持参してください。

食事：開催地周辺には飲食店はありません。各自、必要なお弁当やお飲み物の用意をお願いします。また、お弁当の共同購入が可能なため、参加者には事前にお弁当の希望を伺います。

宿泊：BioBlitzは24時間の調査です。夜の過ごし方には以下の選択肢があります。①夜通しの調査（徹夜覚悟）、②教育研究棟で仮眠（トイレと洗面台はありますが、お風呂やシャワーはありません。キャンプ用のマット、寝袋で雑魚寝）、③車中泊、④テント泊、⑤アクアグリーンビレッジANMONのコテージ利用（有料）、⑥ホテル・民宿利用（予約はご自身でお願いします）、⑦一時帰宅。参加者には事前に①～⑦の希望を伺います。

アクセス：公共交通機関は利用できません。自家用車でお越しください。西目屋村から白神ラインを暗門方面へ進み、川原平橋（大沢川）を過ぎた直後、右側の駐車場に入ってください。

注意事項

- ・園内の植物を必要以上採取したり、傷つけないように気をつけましょう。
- ・ペットの持ち込みはできません。
- ・園内にはツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザルなどの大型獣類、スズメバチやマムシなどの毒を持った動物、ツタウルシやイラクサなどの触るだけでかぶれる有毒植物が分布しています。十分に注意しましょう。
- ・園内では必ず複数人で行動するようにしてください。
- ・観察園から外に出るときは、本部/受付に一言声をかけてください。
- ・調査対象地域以外へは立ち入らないで下さい。
- ・幕営地を含め火の使用は禁止です。

参加申し込み方法

参加を希望される方は、次の内容を下記事務局まで必ずeメール(dhalma@hirosaki-u.ac.jp)でご連絡ください。

1. お名前（全員）
2. ご住所
3. ご本人の連絡先（電話番号、メールアドレス）
4. 緊急時、ご家族への連絡先
5. 参加の仕方（前ページ右下を参照）
（①24時間参加 ②昼間のみ参加 ③初日のみ参加の別）
6. その他（アレルギーなど野外活動を行う上で、事務局が把握しておかなければならない身体/健康上の不安がある場合は必ず、事前にお知らせください）

応募者多数となると見込まれるため、5月24日の締め切り後、抽選を行い、参加の可否を5月27日までにご連絡いたします。

たくさんのご応募、お待ちしております。

主催：弘前大学農学生命科学部附属 白神自然環境研究センター
協力：協力団体を現在調整中

